

作成日：西暦 2026 年 7 月 2 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：脳卒中患者におけるモチベーションの関連因子および機能的帰結との関連に関する前方視的観察研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

倫理審査委員会承認日から 2029 年 3 月 31 日までに藤田医科大学病院特定機能病院リハビリテーション病棟へ入院し、同期間内に退院した脳卒中患者のうち、初発であり脳卒中の発症から 3 ヶ月以内に入院した患者

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、脳卒中患者さんを対象に、入棟時のモチベーションの評価尺度である MORE scale、うつの評価尺度であるハミルトンうつ病評価尺度短縮版（HAM-D6）、疲労の評価尺度である Fatigue Severity Scale（FSS）、アパシーの評価尺度であるやる気スコアと退院時の Functional Independence Measure（FIM）との関連を検討し、入棟時でのモチベーション、疲労、アパシー、うつが、機能的帰結にどのように関連するかについて、他の因子との関連や影響も含めて明らかにすることを目的とします。

診療録、当科データベース、リハビリテーション部門記録等から、年齢、性別、疾患名、FIM、治療経過、転帰先、リハビリテーションの実施量・内容等の診療情報を収集し、統計学的に解析します。

本研究は、藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座で実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、人体から採取された血液、組織等の試料は用いません。研究には、通常診療および本研究で定める評価により取得された診療情報を用います。

具体的には、以下の情報を使用します。

基本情報：年齢、性別、疾患名、受傷日または発症日、入院日、退院日、治療経過、転帰先、在院日数等

モチベーション等に関する評価：入院時の MORE scale、HAM-D6、FSS、やる気スコアの合計点および各下位項目

ADLに関する評価：入院時および退院時のFIMの合計点および各項目

リハビリテーションに関する情報：リハビリテーションの実施期間、実施量、実施内容等

その他の臨床評価：リハビリテーション科およびリハビリテーション部で通常診療として実施している機能障害、能力低下等に関する評価、血液検査、画像検査等

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座 教授 大高洋平

試料・情報の管理について責任を有する者：藤田医科大学 学長 岩田仲生

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座

担当者：和田 義敬

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

電話 0562-93-2167